

平成25年度射水市行財政改革推進会議（第3回）議事要旨

- 1 開催日時 平成25年10月11日（金） 午前10時～午前10時50分
 - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎401会議室
 - 3 出席者
 - (1) 推進会議委員
荒木委員、奥田委員、尾山委員、田中委員、中村委員、牧田委員
 - (2) 当局
副市長、教育長
事務局：行政管理部長、行政管理部次長、財政課長、人事課長、人事課長補佐、
人事課員3名
 - 4 傍聴者等 なし
-

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 題
 - (1) 外部評価の結果について
 - 第1評価グループの評価案 (資料1)
 - 第2評価グループの評価案 (資料2)
 - (2) その他
- 4 閉 会

主な意見等

外部評価の結果について

- (委員) 「1 小杉駅前再開発事業」について、なぜ民活を前提としているのか。JR小杉駅の利用者は結構多いことと、今後、並行在来線運営会社に移行することも考えると、パークアンドライド用に市が直接駐車場を運営することを検討してもよいのではないか。
- (事務局) 借地部分について、地権者と「建物を建築するまでの間、有料駐車場等の営業を目的とする利用に供しない」とする賃貸借契約を締結しており、有料駐車場としての活用はできない。
- (委員) ヒアリングでも議論を行ったが、そのような契約があるため有効利用できず、非常にもったいない。「解約してはどうか」という意見もあったが、駅前にある程度まとまった土地を確保しておけば、いろいろな状況に対応できる」というのは理解できるため、暫定利用については、「市民の持ち込み企画のイベントなど、市民に還元する形で、市民参加できるような利活用方策を検討してほしい」と取りまとめた。
- (委員) 小杉駅前には富山や高岡に行きやすいことが逆にネックとなるため、富山や高岡と競合するような宿泊施設については、ディベロッパーが出てこないと思う。
- (副市長) 新幹線ができると、それが更に加速するのは否定できない話だと思う。一方で、並行在来線の乗降客を少しでも増やすにはパークアンドライドが有効であり、小杉駅の利用環境を整備していくことは必要であると思うが、この借地では契約を見直さない限りできない。
- (会長) 「賃借料に見合った利用方法を考えるべき」であり、それを踏まえて「市民がより積極的に参加、利用できる場となる利活用方策を検討されたい」とのことなので、この部分をしっかり考えていただきたいため、主張とさせていただきたい。誰が見ても「もったいない話である」というのは、確かなところであると思うし、「有効活用をしていただきたい」の一言に尽きる。
- (委員) 「4 公募提案型市民協働事業補助金」の採択に当たっては、市政方針に基づく協働の形が望ましいので、選考委員がそのような基準を持つ必要があると思う。
- (事務局) 選考委員会で目的や効果を検証しており、側面から市に協力する事業や市の政策に合致している事業を採択している。
- (会長) 「5 社会福祉協議会総合相談事業補助金」の無料法律相談について、市

が顧問弁護士に依頼して実施している無料法律相談との一本化というのは、実現できる可能性があるのか。

- (事務局) いろいろな方法が考えられると思うが、双方に経緯があり、市民サービスの低下を招かない形での一本化を考えるには、来年度の実現は時間的に厳しいと思う。
- (会長) これまでの意見については、評価案の中に含まれている、あるいはニュアンスを強めてほしいという形での意見であったと思うので、基本としてはこの評価案を基に報告書を作成するものとし、私に一任させていただきたい。

その他

- (会長) 報告書については、作成後、各委員に送付し確認の上、私と副会長から直接市長へ提出する形で進める。